

■本時のねらい

美しが丘緑小学校 千葉拓士

- ・サケの皮を靴に加工していた事実から、昔のアイヌの人たちがサケを余すところなく使い、知恵を生かしながら生活していたことがわかる。
- ・自分たちの生活と比較しながら、自然を敬い大切に使うアイヌの人々の考え方に気付く。

■本時の展開

主な学習活動とつながりを生む教師のかかわり

<前時までの子どもの姿>

子どもたちは、昔のアイヌの人々の生活（衣食住など）に興味をもち、個々に調べてきている。また、昔のアイヌの子どもたちの遊びを体験し、遊びの中に、自然の中で生きる知恵がつまっていることに気付いている。しかし、アイヌの人々の自然に対しての考え方には、あまり目を向けていない。

面白い仕組みだね。



マレク（実物）



マレク漁の映像

すごいなあ。でも、少しかわいそうな気がする。

とった鮭は、どうするの？

切り身…おつゆ・串焼きなど
ひれ・えら・ほね…おつゆ
ひず…細かく刻む



内臓…胃袋などもおつゆに
筋子…団子やジャガイモと
白子…おつゆ、氷頭にまぶす

鮭をむだなく食べているね！
最後に残った「皮」は…くつに??

どうして昔のアイヌの人たちは、鮭の皮を捨てずにくつを作ったのだろう？

具体物に
浸る

☆鮭の皮のくつの機能性を見つけ、知恵を実感する。

【皮のくつのよさ】

- ・堅くてじょうぶで軽い
- ・背びれが滑り止め
- ・魚の皮だから防水
- ・皮で服も作るんだ

知恵や考え方が



皮まで生かす知恵

つまったくつ

【アイヌの人々の考え方】

- ・捨てたらもったいない
- ・むだにしない
- ・自然を大切にする
- ・カムイチェップ＝神の魚

自然のもの＝神様の恵み

比較から
深める

☆給食の残飯の写真と比較し、アイヌの考え方を浮き彫りにする。



やっぱり、「かわいそう」…って思う？



鮭フライの残

命あるものを大切にするという「知恵」や「考え方」があるから、皮までも捨てずに、むだなく使ったんだね